



習志野市定例記者会見資料
平成27年7月23日

「第44回全国消防救助技術大会」 出場について

去る、6月2日「第40回消防救助技術千葉県大会」が千葉県消防学校（千葉市中央区仁戸名町）で開催され、千葉県内の30消防本部（局）から消防救助隊員549名が出場しました。

この大会は、日頃から鍛えている救助技術の訓練成果を発揮し、相互の技術の向上を図ることを目的に実施されるものです。

隊員は、地震、風水害の自然災害、複雑多様化する都市型災害等、各種災害から地域住民の安全を確保するため、より高度な消防救助技術の研鑽が不可欠で、大会では、過酷な災害活動にも耐えうる、強靱な体力と精神力を練磨することが必要とされています。

本市消防本部からは、5種目に合計で21名の救助隊員が出場しました。

このうち、個人種目のロープブリッジ渡過では、千葉県第1位という見事な成績をおさめ、千葉県代表として8月29日に兵庫県神戸市で行われます、第44回全国消防救助技術大会への出場が決定しました。

また、団体種目のロープブリッジ救出では、千葉県第3位という優秀な成績をおさめ、7月17日に埼玉県富士見市で行われました、第44回消防救助技術関東地区指導会に出場しました。

1. 第40回消防救助技術千葉県大会の結果について

(1) 日 時 平成27年6月2日（火）9時から

(2) 場 所 千葉県消防学校訓練場
（千葉市中央区仁戸名町666-2）

(3) 訓練種目

①陸上の部7種目

・ロープブリッジ渡過、はしご登はん、ロープ応用登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出、引揚救助、障害突破

②本市救助隊出場種目（5種目21名出場）

・ロープブリッジ渡過（2名）、はしご登はん（1名）

・ロープ応用登はん（2チーム4名）、ロープブリッジ救出（2チーム8名）、ほふく救出（2チーム6名）

(4) 大会結果

①ロープブリッジ渡過、福岡義人消防士：第1位（全国大会出場）

②ロープブリッジ救出、伊藤和揮消防司令補、眞下裕司消防士長、柿田祐輔消防士長、松橋拓也消防士：第3位（関東大会出場）

③ほふく救出、志村奨吾消防士長、鷺海翔消防士、田中彰消防士：第4位（入賞）



2. 第44回消防救助技術関東地区指導会の結果について

- (1) 日 時 平成27年7月17日(金)9時から
(2) 場 所 入間東部地区消防組合東消防署消防訓練場
(埼玉県富士見市鶴間1850-1)

(3) 訓練種目

①陸上の部4種目(367人)

- ・ロープブリッジ救出、引揚救助、障害突破、技術訓練

②本市救助隊出場種目(1種目4名出場)

- ・ロープブリッジ救出(1チーム4名)

(4) 大会結果

ロープブリッジ救出(1チーム4名)

伊藤和揮消防司令補、眞下裕司消防士長、柿田祐輔消防士長、松橋拓也消防士
全国大会への出場は果たせませんでした。減点なしで入賞しました。

3. 第44回全国消防救助技術大会

- (1) 日 時 平成27年8月29日(土)9時から
(2) 場 所 神戸学院大学ポートアイランドキャンパス
(兵庫県神戸市中央区港島1-1-3)

(3) 訓練種目

①陸上の部7種目

- ・基礎訓練(ロープブリッジ渡過、はしご登はん)
- ・連携訓練(ロープ応用登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出、引揚救助、障害突破)

②本市救助隊出場種目(1種目1名出場)

- ・ロープブリッジ渡過
福岡義人消防士

【参考】

○ ロープブリッジ渡過

水平に展張された渡過ロープ20メートル(往復40メートル)を、往路はセイラー渡過、復路はモンキー渡過するロープ渡過の基本的な訓練です。

○ ロープブリッジ救出

4人1組(要救助者を含む)で、2人が水平に展張された渡過ロープ(20メートル)により対面する塔上へ進入し、要救助者を救出ロープに吊り下げてけん引して救出した後、脱出する。要救助者を隣の建物等から進入し、救出することを想定した訓練です。

〈問い合わせ〉 習志野市消防本部 総務課 担当者 鈴木、木内
047-452-1282